医療法人 財団 康生会 武田病院

「第27回康生会武田病院症例検討会」
地域の開業医の先生とともに最新医療情報の共有化のために研修

地域医療支援病院としての貢献と最新医療情報の共有を目指し、地域の開業医の先生と当院の医療従事者が互いの連携を図る「第27回武田病院症例検討会」（下京西部医師会・第一三共株式会社共催）を10月25日、ホテルグランヴィア京都で開催しました。

地域の開業医の先生方や武田病院グループの医療従事者ら100人が、治療に関わった症例についての分析を行いました。

症例発表に先立ち葛谷英嗣院長が、「毎年1回の症例検討会も27年目を迎えましたが、京都市内で開業されている先生方のご支援があってこそです。特に特別講演していただくアルツハイマー病は、国民の関心が非常に強い疾患であり、医療者にとっても糖尿病など各科にまたがる疾患でもあります。開業医の皆様にとっても情報共有のいい機会だと思っております」と挨拶し、第1症例『細菌性肺炎との鑑別を要したウェゲナー肉芽腫症の1例』の発表に移りました。

第1部では、下京西部医師会の小泉俊三先生（一般財団法人東光会七条診療所所長）が座長を務められ、武田病院の安岡貴之・初期臨床研修医が、国の難治指定となっているウェゲナー肉芽腫症について発表されました。

安岡 貴之
初期臨床研修医

第2症例として、武田病院脳卒中センターの荻野英治医長が『新規デバイスを用いた脳梗塞急性期再開通療法の検討』を発表し、座長を下西医師会の青木淳先生（青木医院院長）が担当されました。

脳卒中センター
荻野 英治 医長

特別講演では、滋賀医科大学神経難病研究推進機構分子神経科学研究センター長の遠山育夫先生が、『アルツハイマー病と先制医療～その考え方と最近の知見～』と題して講演いただきました。講演では、アルツハイマー病の研究や治療に当たっては、5～10%が家族歴や遺伝子変異が大きく関与していると考えられており、さらに研究を深める必要性があることを強調されました。

滋賀医科大学
神経難病研究推進機構
分子神経科学研究センター
センター長 教授
遠山 育夫 先生

QMS（品質マネジメントシステム）ISO9001更新審査を受審しました。

平成26年10月15日と16日の両日にわたり、適用規格JISQ9001:2008での更新審査が康生会武田病院で行われました。

1996年に康生会武田病院健診センターにおいて認証取得（医療機関では全国初）して以来18年目、6回目の更新審査であり認証継続となりました。

また、今回は特別審査も兼ねており認証範囲に画像診断センターがあらたに追加されました。

康生会武田病院は、今後も引き続き品質方針である「安全・信頼・納得の良質な医療サービスを提供する」に基づき、患者さんの満足度を高めるための努力を続けていきます。

[審査におきましては、特に次の事項について高い評価を受けました。]

- 感染対策委員会の行う週1回のICTラウンドの実施結果は、チェック項目に対する適、不適を明確にし、写真を多用、改善成果の結果を点数表示する等の判り易さを考慮した工夫が行われている。
- 医療安全対策委員会の評価・検証活動が充実して行われている。
- 糖尿病教育入院に関するクリティカルパスの確立、活用状況が秀逸である。
- 診療録の記載内容について、記録の質、量の向上が継続的に図られている。
- 6FB病棟では目標展開表の中間報告にあたり病棟カンファレンスで中間評価と後期の取組みについて意見交換を行い、その結果を「6B病棟展開表中間評価」という詳細な資料にまとめていることは目標展開の仕組みとして高く評価できる。
- 6FB病棟では転倒事故を重視してカンファレンスにて対策を検討、実施することにより、手術件数が増加したにもかかわらず転倒事故件数を大幅に減少し患者満足度向上につなげた。

医療法人　医仁会武田総合病院

第48回「医仁会武田総合病院特別講演会」

京都市東南部地域の開業医の先生方と、武田病院グループの専門医ががんなど重症疾患の最新治療について情報共有に努める、第48回「医仁会武田総合病院特別講演会」が9月25日、京都市のホテルグランヴィア京都で開催されました。

会に先立って医仁会武田総合病院の森田陸司院長が、従来の「症例検討会」から、医療界トップの研究者や医師の研究発表に重点を置き、「特別講演会」と改めたことを報告、「この会の目的は、医仁会武田総合病院の医師が開業医の先生と直接、面談して医療連携を深めることである」と挨拶しました。

最初の症例発表として、『耐寒能の低下を主訴としたACTH分泌不全症の一例』のテーマで、医仁会武田総合病院総合診療科の三浦賢仁研修医が発表。

2例目は、泌尿器科の久保田聖史専攻医が、『死に至った腎盂腎炎の2例～当科の現在の救命治療法と難治症例』について発表しました。

特別講演は、京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学講師の馬場長先生が、『妊孕能（にんようのう）温存の婦人科がん治療について』のテーマで、晩婚化が進むなかで、子宮筋腫や子宮頚がんの発病・治療後の妊娠への希望者が多い点などについて、近年の火急の問題とし、京都大学での最新治療法について発表しました。

三浦賢仁研修医

久保田聖史専攻医

京都大学大学院
医学研究科
婦人科学産科学講師
馬場長先生

第13回　ICLS石田の杜コース

「医仁会武田総合病院　第13回　ICLS石田の杜コース」を11月2日に開催しました。コースでは、心停止患者に対する最初の10分間に行うべき処置を学習します。受講生は院内のみならず、院外からも広く募集を行っています。近年、京都府下では院外からの受講生を募集するコースは減少しており、当院が開催する社会的意義は非常に大きくなっています。

内容は実技を中心とした体験型の学習になっています。まずは個人のスキルを習得し、最後はチーム医療として患者の救命にあたる事ができるように、繰り返しトレーニングを行っていきます。受講生も一日のなかで自分の成長を実感することができるため、充実感が得られる内容となっています。

患者さんの急変はいつ起こるかわかりません。急変に対するリスクマネジメントを行うことで、患者さんが安心して入院生活が過ごせるように努めています。

運営はACLS実行委員会に参加する医師・看護師・臨床工学技士・理学療法士と多職種でおこなっています。職種の垣根を越えたチームとして活動し、チーム医療のモデルとなれるよう日々研鑽を重ねています。

宇治武田病院

医師紹介（整形外科（脊椎センター））

平成26年10月より宇治武田病院整形外科へ脊椎センター長として赴任させていただいております。私は整形外科の中でも脊椎を専門にしております。症状の軽度な場合は薬物加療や神経ブロック等の積極的保存治療を、症状が進行した場合は低侵襲手術を基本にした手術治療を行っております。筋肉を温存した除圧術や固定術、あるいはナビゲーションシステムを用いた安全な固定術を目指しております。近年は、椎体骨折後偽関節に対する椎体形成術や後方固定術の適応も増えています。今後も増えていくであろう脊椎疾患に対して、常に探究心を持って最善の治療を提供することで、地域医療に貢献したいと思います。

齋藤　令馬（さいとう　りょうま）
脊椎センター長

平成26年10月1日就任
平成2年　京都府立医科大学医学部　卒
日本整形外科学会　専門医・脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会　脊椎脊髄外科指導医
日本脊椎・脊髄神経手術手技学会　所属
日本ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ医学会　所属
中部日本整形外科災害外科学会　所属

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
整形外科	AM	梶川	齋藤	小田	清水	非常勤医	常勤医（スポーツ外来）第1・3・5
		清水	梶川	非常勤医	齋藤	小田	非常勤医
		☆河合（上肢の外科）	―	―	河合	―	―
	PM	☆河合（勝見）（上肢の外科）	☆勝見　第1・4・5（上肢の外科）	☆勝見　第3（上肢の外科）	☆清水（スポーツ外来） 非常勤医　第4	☆勝見（上肢の外科）	―

医師紹介（歯科・口腔外科）

はじめまして、この10月より宇治武田病院歯科・口腔外科に赴任いたしました岡野光一郎と申します。

私は、2013年3月に朝日大学歯学部を卒業し、福井赤十字病院歯科・口腔外科、京都府立医科大学附属病院歯科・口腔外科にて診療してきました。特に全身疾患・加齢から起こりうる多様な口腔内変化に対し一般の歯科診療所では治療困難な症例に力を尽くしたく勉強してきました。

赴任にあたり、歯科医師として患者さん一人ひとりの対話を大切にしながら、地域医療に貢献できるよう全力を尽くしていく所存です。皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

岡野　光一郎（おかの　こういちろう）

平成26年10月1日就任
平成25年　朝日大学歯学部　卒
日本口腔外科学会　所属

診療科		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
歯科・歯科口腔外科	AM	村山・加納・佐藤・岡野	村山・加納・佐藤・岡野	村山・加納・佐藤・岡野	村山・加納・佐藤・岡野	村山・加納・佐藤・岡野	非常勤医
	PM	☆常勤医	☆常勤医	☆常勤医	☆常勤医	手術	―

医療法人 財団 医道会　十条武田リハビリテーション病院

人工関節センターのご紹介

当院の人工関節センターでは、変形性膝関節症や変形性股関節症、さらに関節リウマチによる肘、肩、足などの関節症に対して確実に痛みが改善し、生活の質を改善できる治療を提供しています。人工関節の定期的なチェックや、再置換手術（入れ替え）も行っております。

☆人工関節置換術とは

変形性膝関節症や変形性股関節症、関節リウマチの治療で行われる手術です。動かすときの痛み、固縮、脚長の短縮（足の長さの違い）を手術により一度で直すことができます。肩、肘の人工関節置換術も行っており日常生活の不自由も改善します。

☆人工関節の種類

人工股関節は、特殊な金属のチタン、セラミックや硬いプラスチック（ポリエチレン）などが素材として選ばれて作られています。現在の人工関節は15年～20年間は機能します。

☆寝たきり要因の変形性股関節症、変形性膝関節症、関節リウマチ

わが国では、膝の人工関節治療で年間約12～13万人、股関節は年間約8～9万人行われています。
特に、股関節は身体の中の最も大きな関節で、体重を支えています。健康な下肢では痛みなく歩いたりできるのですが、股関節や膝関節に問題が生じると、動くと痛むようになり、トイレにも困るようになります。

☆治療法

人工関節の手術は、待機手術であるため自己血貯血を行って輸血を回避することも可能です。手術中、手術後の出欠を回収して自己血として輸血する機械もあります。

☆手術により改善へ福音

昨年、当院へ赴任後から50例の人工関節手術を行い、武田病院グループを含めた全ての臨床手術件数は600例以上になります。満年齢と体力年齢は別と考えられており、85歳を超えた方々でも自ら人工関節手術を望む方が増えてきています。

☆リハビリと運動

当院はリハビリの専門病院です。人工関節の手術後すぐにリハビリを開始して、早期に退院、日常生活へ復帰していただいています。

副院長
人工関節
センター長
真多　博俊

医療法人 財団 康生会　北山武田病院

10月26日(日) 健康フェスティバルを開催致しました

晴天に恵まれ、137名の方に参加いただきました。フェスティバルの目的は地域の方との交流を図り、皆様の心と体の健康増進、また当院を知っていただくことでした。肺・血管・骨・肌年齢、ストレス測定は1時間待ちのコーナーもあり、ご自分の健康に対する関心の高さを感じました。

看護師によるアロマハンドマッサージ、『イミンズ』によるミニコンサート、お子様向けのパネルシアターなど、たくさんの人に参加していただき楽しいひとときを過ごしていただきました。

ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。

パネルシアター

アロマハンドマッサージ

AED講習

肺年齢測定

ミニコンサート

指定管理者 医療法人 医仁会 精華町国民健康保険病院

精華町消防本部と合同で、避難訓練を行いました

2014年11月14日午後3時より、精華町国民健康保険病院内にて精華町消防本部と合同で避難訓練を行いました。

訓練では、昼間に2階厨房から出火した想定で、入院患者さんの避難誘導や消防隊に病院情報を報告の義務などを、事後のミーティングでは実際に火災が起こった時に知りたい情報はどんなものなのか、こういう場合どうしたらいいのかなど、お互いに意見を交換し合い有意義な訓練となりました。

今回の訓練でより一層の防火への意識を高め、万が一出火した場合でも全員が安全に避難できるように努めてまいります。

医療法人 財団 宮津康生会 宮津武田病院

病院機能評価を受審しました

日本医療機能評価機構が実施している「病院機能評価認定病院」を目指して、昨年度から院内の様々な問題点・課題を解決し本番に臨みました。受審に際しては「機能評価受審準備委員会」を立ち上げ、長期間職員全体で質の改善に取り組んできました。9月16日･17日の2日間、その成果をサーベイヤーの方と一緒に確認を行いました。外部の評価を受けるという事は、患者さんが安心して受診できる病院づくりと、職員も安心して勤務できる職場として、大変重要で価値のあるものと考えています。

ただ、受審を受けて形骸化しないよう、これを契機になお一層の改善に取り組んで行きたいと思います。

木津屋橋武田病院

在宅療養をお考えの皆様へ

当院では、定期的な通院が困難で、在宅療養を希望される患者さんに対して訪問診療・往診を行っています。

患者さんができる限り自宅において、快適な日常生活を営む事ができますよう医師が訪問し、治療及び医学的な指導管理を患者さんやご家族に行います。

ご希望の方は、木津屋橋武田病院までお気軽にご相談ください。

代表 075-343-1766 訪問診療担当までご連絡ください。

医療法人 財団 医道会 稲荷山武田病院

電子カルテを導入いたしました!

稲荷山武田病院は、2014年7月1日より電子カルテの運用を開始いたしました。

グループ病院では7施設目となりますが、当院では初めてのことでもあり、導入3ヶ月前より準備委員会を立ち上げ、医師をはじめスタッフ一丸となり、準備に取り組んでまいりました。

導入当初は細かな点で色々あり、ご迷惑をおかけしていたところもあるかと思いますが、4ヶ月が経ち、スタッフの努力もあり、今ではスムーズに診療ができています。

今後も電子カルテを有効に活用し、診療の質を高め、より信頼される病院になれるよう職員一同取り組んでまいります。

社会福祉法人 青谷福祉会 特別養護老人ホーム　ヴィラ稲荷山

第3回稲荷山文化祭を開催いたしました

11月3日(月)～11月11日(火)当施設にて開催した第3回稲荷山文化祭の一環として、11月9日(日)に、「お茶席」を開催しました。今年初めての取り組みとなったこの行事は、地域のボランティアを先生としてお招きし、ご入居さんだけではなく地域からの参加者さんも幅広く募集したところ、多くの申込みがあり、4部制で実施しました。参加された皆さんは、先生の見事なお点前を見ながら一服され、ゆったりとしたひと時を過ごされました。

これからも地域とのつながりを大切にし、様々な活動を通じて地域に根ざした施設になるよう努力して参ります。

社会福祉法人 悠仁福祉会 特別養護老人ホーム　ヴィラ鳳凰

合同遠足行事・第7回鳳凰文化祭～地域とのふれあい～を開催!!

11月4日、東映太秦映画村へ合同でご利用者さん21名、職員15名が遠足に行き、ご利用者さんに大変喜んでいただきました。 11月7日～9日の間、やまぶきホールにて文化祭を開催。地域の皆さんの作品約200点がずらりと並びました。また7日は、こざくら幼稚園の園児によるダンスと合唱。9日には宇治中学校吹奏楽部による演奏、職員による演劇『水戸黄門』を披露。盛大に文化祭を開催することができました。 これからも地域とのつながりを大切にしていきます。

医療法人 医仁会 老人保健施設　いわやの里

「認知症専門棟」を開設しました

2014年9月1日より、2階フロアを一部改修し、認知症専門棟を開設、運営しております。認知症の利用者さん一人ひとりの個性や心身の状況、生活歴などを把握し、症状に対応したレクリエーションを実施しています。認知症ケア専門の研修を終了した“認知症ケア専門士”を配置し、笑顔の絶えないケアを実践しております。居室2室(計6名分)をフリースペースに変更し、和風にしつらえ落ち着いて過ごせる空間を確保し回想法を行っております。今後、調理のリハビリテーションも予定しております。

※11月1日より、通所リハビリテーションの定員を29名に拡大いたしました。

社会福祉法人 青谷福祉会 軽費老人ホーム　ヴィラ城陽

地域の城陽市立青谷保育園児と芋ほり交流

地域とのふれあい事業の一環として、10月9日(木)に青谷保育園児さんと施設の「ヴィラ畑」で「芋ほり交流会」を行い、見事に育った100株のさつま芋を掘り起こしました。

園児さんとの交流は今年で6年目に入り、入居者さんが、ヴィラ畑で園児さんと6月12日(木)に定植した苗は、入居者さんの毎日の水やりや草引きなど愛情を込めた世話により、立派なさつま芋に成長していました。「こんな大きいの採れたよ」と、園児さんは大きなさつま芋を手におおはしゃぎ!!

芋ほりの後は、歌の交換を行い、入居者さんは園児さんから大きな元気をもらいました。

これからも、地元の保育園、高齢者クラブなど、地域とのふれあい、つながりを大切にしていきます。

社会福祉法人 青谷福祉会　三条小川デイサービスセンター

敬老祝賀式を行いました

2014年9月10日(水)敬老祝賀式を行いました。

武田道子理事長より挨拶及び記念品の贈呈、その後グループ職員によるマジックショーを行い、大いに盛り上がりました。

当センターでの最高齢は104歳！しっかり自分の足で歩き食事もしっかり召し上がられ、お話しもしっかりされ大変元気に過ごされております。

これからも利用者さんが元気で住み慣れた地域で過ごして頂けるようご支援させていただきます。